

## 29. 仮定法の復習

### もしもボックスがあったら

目標: 仮定法を使い、自分の願望について話せる。

対象: 中学3年生

時間: 17分

準備物: ハンドアウト、PPT

#### タスクの進め方

○Pre-task

1. 生徒にワークシートを配布し、次回の授業でSpeaking testとFun essayを実施することを伝え、評価について話す。
2. Step 1としてエッセイを読み、問題を解かせる。ペアで答えを確認させた後、全体で確認する。

(例) If I had the What-if box, I would make three wishes. First of all, I would say “I wish I could teleport.” If I could teleport, I would not need to walk, drive a car, ride a bike, or use transportations to go anywhere. Secondly, I would say “I wish I were rich” If I were to be a rich person, I would travel around the world. Thirdly, I would say “I wish I could speak all languages.” If I could speak all languages, I would make a lot of friends.

3. Step 2としてももしもボックスがあったら何をしたいかマインドマップを書かせる。

○Task

1. Step 3として質問に答え、Taskを行うための準備をする。
2. Step 4としてStep 3の質問の答えをもとにSpeaking testの練習をペアで行う。ペアを変えて何度も行う。

#### ワンポイント・アドバイス

- Step 2でマインドマップを書かせる際、机間巡視を行ったりペアで情報を共有させることで、アイデアが浮かばない生徒の補助をする。
- ペア練習中は教室を回り、苦手と感じる生徒の手助けをする。
- 慣れてきたら、少しずつワークシートを見ないように促す。

(小西和菜、森能周大)